

系統安定化装置用信号伝送装置 SSC-TT

系統安定化装置（SSC：System Stabilizing Controller）は、障害等により電力系統が不安定に陥る前に、高速で幹線を分離し、電源や負荷を遮断して、系統を安定化させるシステムで、中部電力(株)にて採用されている。

このシステムと他の制御装置間の信号を伝送するのが系統安定化装置用信号伝送装置（SSC-TT：Transfer Trip for SSC）であり、このたび当社で開発、商品化した。

本装置は、送信部と受信部、それらを収納する架台で構成されている。通信はモデムで送・受信するが、通信回線はマイクロ波回線が採用されている。送信部は、SSCからの接点信号を受け、受信部は被制御装置へ接点信号を出力する。

その概要を下図の装置構成に示す。

■ 特長

①最大実装通信量の増加

PLD採用による実装効率の向上により、従来の送信16量／受信8量から、送信18量／受信18量に実装量を増加した。

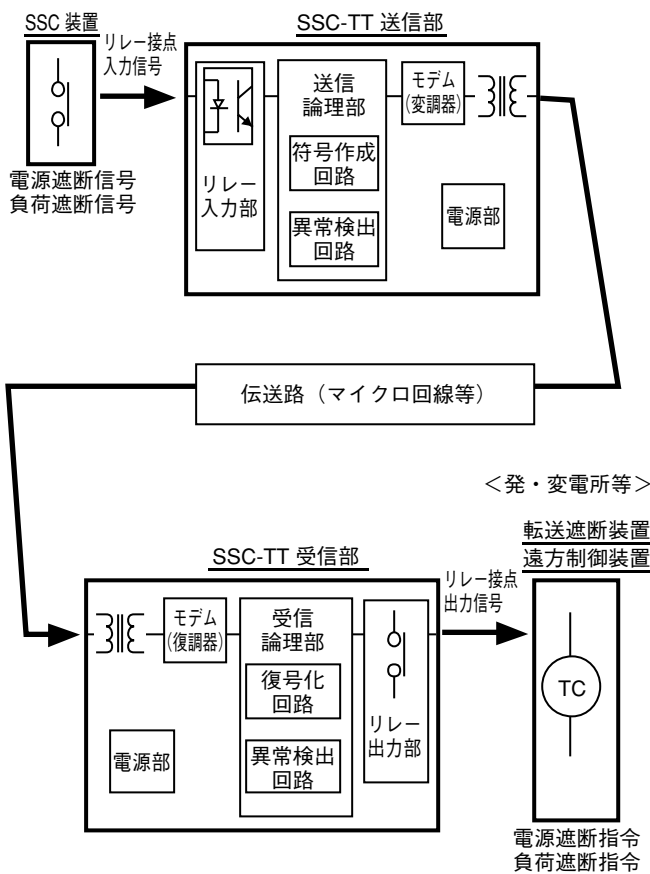
②メンテナンス性の向上

外部接点信号（警報を除く）を、本装置から遮断する切り分け部を前面配置としてメンテナンス性を向上した。

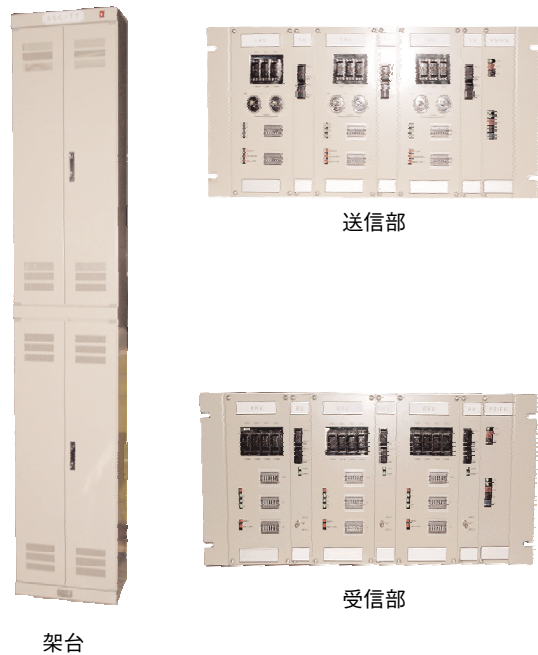
■ 主な仕様

項目	定格・仕様
信号伝送方式	常時伝送パルスコード方式
符号形式	NRZ 等長符号
伝送速度	1,200 bps
副搬送周波数及び周波数偏移幅	1,700Hz ± 400Hz
誤り検定方式	12ビット特定パターン検定方式
入出力	入力：各動作状態毎に無電圧1a接点入力 出力：各動作状態毎に無電圧1a接点出力
最大実装通信量	18量
供給電源	マルチ電源 DC 24 / 48 V 陽極接地 DC 110 V 中性点接地 AC100 / 200 V 1φ 60Hz
供給方式	単独または二系統
外形・寸法	520 mm(W) × 300 mm(D) × 2,300 mm(H)

<超高压変電所等>



■ 装置構成



■ SSC-TT 外観